

## 感染症情報 3月18日～24日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,223例(堺市	58例)
②溶連菌感染症	458例(堺市	46例)
③RSウイルス感染症	247例(堺市	13例)
④伝染性紅斑	101例(堺市	6例)
⑤咽頭結膜熱	93例(堺市	5例)

府下インフルエンザ定点304医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 504例(堺市 40例)

感染症報告数は前週比10.3%減の2,320件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、咽頭結膜熱の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比して13%減、堺市は16%減であった。溶連菌感染症は府下で15%減、堺市で23%減であった。RSウイルス感染症は府下で8%増、堺市で18例→13例であった。伝染性紅斑が府下で26%増、堺市で7例→6例となった。咽頭結膜熱が府下で2%減、堺市では11例→5例であった。

インフルエンザは府下で前週559例→今回504例は10%減で定点当たりの報告数は1.85→1.66となった。堺市では前週47例→今回40例となった(15%減)。

麻疹の報告が府下で今回6例あり(堺市に1例)。麻疹の年始からの府内累計報告数は116例となった。

風疹は府下で5例あった(堺市はなし)。風疹の府内累計報告数は92例となった。昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対する『風しんの第5期定期接種』が、堺市でもまずは堺市在住の方を対象にスタートした。詳しくは、堺市ホームページ <https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/kansensho/yobo/rubella5th.html> へ。